

浅間山噴火時の減災にコーケンブロックが備蓄されています

浅間山の火山活動が活発になり、それに伴う土砂災害の発生が予想される場合、流下する土砂等を緊急的に防御するために使用するブロックです。

○ブロックの特長

- ・ブロックの脚の噛み合わせが良く、一体化が図れます。
- ・重心が低く多脚なため、転倒流失及び吸出しによる沈下は少なく、洗掘による転倒も起こりにくいブロックです。
- ・安全な場所でブロックを製作・運搬出来るため、被災現場での作業が短縮できます。
- ・床均し程度でよいため、床掘土量が少なくて済みます。
- ・ブロック据付時に大きな重機を必要とせず、回排水も必要がほとんどありません。
- ・有人施工はもちろん無人化施工も対応可能です。 [⇒無人化施工について](#)

○施工事例

工事名	H24浅間山南麓砂防施設整備工事	品名	コーケンブロック
工事場所	長野県小諸市加増地先	規格	1.0型×3単位
事業主体	国土交通省 利根川水系砂防事務所	数量	3,450個
所管	建設	完工	2013/11/15

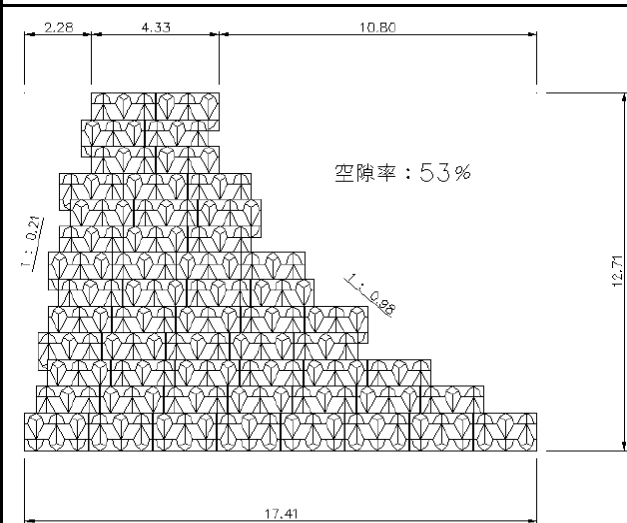


位置図

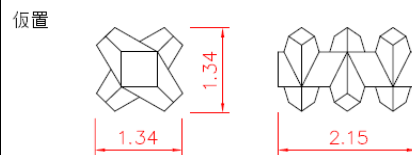
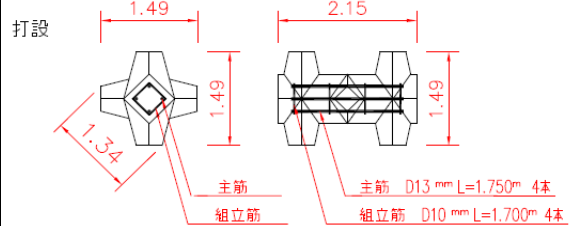


コンクリートブロックによる砂防堰堤のイメージ

イメージ写真



検討断面図



諸元

名称	規格	単位	1.0型×3単位
管	量	t	2.779
体	積	m ³	1.208
鉄	主筋	kg	6.965
筋	組立筋	kg	3.808
型	積面積	m ²	9.04

ブロック概略図